

和歌山県立串本古座高等学校

# 広報くしこざ

編集：発行：串本古座高等学校地域協議会

## INDEX

- ・令和元年度三学期の動き…………… 1
- ・令和2年度一学期の動き…………… 1～4
- ・今後の取組み…………… 4
- ・地域協議会…………… 4・5



まっぴるで!

本州最南端で

入学+留学=串本古座高校

KUSIMOTOKOZA HIGH SCHOOL

和歌山県立串本古座高等学校



串本古座高校は全国から生徒を募集しています

詳しくは串本古座高校魅力化プロジェクト特設サイトへ

## 令和元年度三学期の動き

### 1月

#### センター試験壮行会



1月15日（水）、大学入試センター試験を受験する生徒の壮行会を行いました。

今年度、本校からは7名の生徒が受験します。校長先生のお話の後、教頭先生をはじめ、進路指導部や各教科担当の先生方からも激励の言葉を贈りました。生徒たちは、「みんなでがんばってきますので、応援よろしくをお願いします。」と力強く話してくれました。

#### 介護職員初任者研修資格検定試験 および修了式

1月25日（土）の午前中、本年度最後の3年生「介護福祉基礎」の授業、午後から介護職員初任者研修資格の検定試験があり、受講していた11名全員が合格し資格を取得しました。検定試験後の修了式では、にしき園の施設長さんが県知事からの修了証を一人一人に手渡してくれました。取得した資格は全国共通、資格を持って働くことができます。福祉の仕事をする人もそうでない人も大きな宝となりました。



### 2月

#### 令和元年度卒業証書伝達

2月27日、政府より「新型コロナウイルス感染症感染防止措置のため3月2日からの学校一斉休校」が発表されました。これを受け、出席者を限定し2月28日に卒業証書伝達を行いました。



## 和2年度一学期の動き

### 4月

#### 入学式



4月9日（木） コロナ感染症の影響で臨時休校中で出席者を入学生と保護者に限定、手指消毒・ソーシャルディスタンスの確保・検温等新型コロナウイルス感染症対策を施し、来賓祝辞を行わないなど入学式の所要時間を短縮、感染予防に最大限の注意を払い実施しました。

#### 始業式

4月13日（月） コロナウイルス感染症感染予防のため臨時休業措置もあり、当初予定の8日（水）から13日（月）に変更し、さらに密集を避けるため校内放送を用いて行いました。

## 5月

### 休校措置・分散登校

5月31日までの休校が発表される中、5月18・19日に分散登校を実施、25日から29日には授業再開に向け準備期間と位置づけ午前・午後の2グループに分け分散登校を実施。マスクの着用と教卓には飛沫防止対策を行い、学習指導などを行いました。

また、午前と午後の生徒が入れ替わるタイミングと午後に登校した生徒が帰宅後に、職員が除菌作業を実施しました。



### 遠隔授業への対応

休校期間中、一部科目でICTを活用した学習指導を試験実施、学校再開後再び休校となるような場合に限らず、遠隔授業が必要となった場合は速やかに移行するためのノウハウの蓄積に努めました。



### くろしお塾

今年度も『くろしお塾』を開校、「学び直し講座」・「定期考査対策講座」・「英検・漢検講座」に加え自習室に専属の先生が常駐するなど取組をより充実しました。「英検・漢検講座」では、地域の中学生にも呼びかけ検定試験に向

け、土曜日を中心に古座川町公民館への出張講座も行いました。今後も検定試験の日程を考慮して中学校に連絡します。

### 授業再開



6月1日より6月12日までの期間を、15日(月)からの本格的な再開に向け、段階的に取り組みをスタートしました。この間、

一斉登校し、昼休みや放課後に生徒の声が聞こえ、自主練習の形で再開したクラブ活動も15日以降は3密を避ける取組みは継続したものの、代替大会等のスケジュールも発表されるなど、3年生の部員にとっても最後の活動の場が復活したことで、学校に活気が戻っていました。



### 進路保護者会



6月19日(金)午後7時より視聴覚教室において、3年進路保護者会を実施しました。今年度はコロナウイルス感染症

感染防止対応の一つとして、ネット会議(Zoom)を使い、ご家庭からも参加できる試み

も行いました。

## 交流授業



6月24日（水）  
石川県立飯田高等学校とWeb会議システムを用い、遠隔交流授業を実施しました。第1回目の交流授業では学校や地域の紹介を行いました。

第2回以降の交流授業では、3年生のグローバルコースの生徒を中心として、2年生の時から地域の方から学んだ水産や、捕鯨、地域の活性化等についての発表を行う予定です。

## 生徒会活動



6月29日（月）  
昨年度、要望のあったトイレ入り口に暖簾（のれん）を設置しました。当初は新年度初めに設置を予定していましたが、

コロナウイルス感染症の影響により休校期間があったため設置が遅れていましたが、設置することができました。

## 7月

### 地域みらい留学2020

7月25、26日にオンラインによる学校紹介を行いました。

例年は東京や大阪に出向き、会場にお越しいただいた方に対面し、学校説明等広報活動を実施していましたが、今年度はコロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる広報活動となりました。これまでに無い試みであったため、新たな課題も見えてきました。見えた課題

については次回以降の活動に向け改善したいと考えています。また、今回の経験から、今後は学校独自にオンライン説明会やライブ配信を用いた広報活動を計画しており、詳細についてはホームページ等によりご案内します。



## 進路保護者会

7月29日（水）1学年コース説明会を行いました。以前、掲載した3年生進路説明会同様、Web会議システムも使い多くの方にご参加いただきました。

## アジア・オセアニアフォーラム



7月29日（水）～31日（金）の3日間、2名の生徒が参加しました。1日目の開会式では、仁坂知事のビデオメッセージが流れ、参加者紹介と続き、その後セッションへ進みました。

2日目のセッションでは本校の仁木さん（2年生）が観光・文化分科会で発表しました。



3日目は、2つのセッションのあと閉会式が行われ、高校生フォーラムは終了しました。

## マリンスポーツ実習始まる



マリンスポーツ実習が始まり、ライセンス取得もあと少しのところまで来ました。生徒たちもインストラクターの話に耳を傾けていました。短い夏休みが終わるといよいよ海での実習が始まります。

## 今後の取組み

令和3年3月卒業予定者の就職選考開始期日が9月16日から10月16日に変更となることが発表されました。また、進学についても当初の試験日程を変更する大学や専門学校からも連絡を受けています。このようなことから指導期間も予定を変更し、現在、取組みを進めています。

## 串本古座高等学校 地域協議会



### 「くろしお塾」をパワーアップ！！

串本古座高校の魅力の一つである校内塾「くろしお塾」も、今年で3年目に入りました。「くろしお塾」は「学習支援機能」と「豊かな自分づくりを支援する機能」の2つの機能を有しています。

「学習支援機能」では、これまで受験対策と学び直しを「柱」として取り組んできました。特に英検の講座がよく利用され、主催する公益財団法人日本英語検定協会から、平成30年度と令和元年度の2年にわたり奨励賞を受けています。

その受験対策講座をさらにパワーアップしました。スタディサプリを活用した「デジタルくろしお塾」を追加して、生徒たちによりいっそう「くろしお塾」を利用してもらうのが狙いです。それに加えて、和歌山大学の協力をいただきながら、「出張！和大オンラインくろしお塾」も計画していますが、コロナウイルスにより実施が見通せない状況となっています。

「豊かな自分づくりを支援する機能」は、「地域未来学」と名付けた講演会が中心の機能です。県内外から講師をお招きして、生徒との交流も交えながら、人生の先輩としてのお話を聞かせていただくよう計画をしています。

### 生徒の企画に3万円（上限）の助成！

地域の活性化のため生徒自らが企画立案し、申請した活動に対して、上限3万円の助成金を支給します。これは生徒の「企画力」「実行力」

などを育成するために創設された助成事業です。原資は平成30年度に「南紀わかものプロジェクト」からいただいた寄付金で、昨年度は残念ながら申請はありませんでした。ぜひこの助成制度を活用して、今年度は「豊かな自分づくり」に取り組んでほしいものです。

### 「くろしお塾」のプロデュースを担当 してくれています



酒井豊先生。  
今年度、講師として串本古座高校へ赴任されました。本校のOBであり、

和歌山市で塾の経験もあるとのことで、「くろしお塾」の講座の充実に取り組んでいただいています。放課後は「くろしお塾」の管理や、生徒指導にもあたってくれています。

### ◆新型コロナ感染症の影響◆

今年はコロナの流行によって、地域協議会が計画していた多くの事業が中止になったり、学校の授業も取りやめとなったもの、内容や方法が変更となったものなど、その影響は計り知れないほど甚大です。

それでは令和2年度に地域協議会が計画していた事業がどうなっているのか、どうなっていくのかを報告します。

### 「くろしお塾」

今年度から「くろしお塾」全体の内容の見直しを図りました。まず、スタディサプリを使って受験対策講座を開いたりする「デジタルくろしお塾」をスタートさせました。塾頭が「くろしお塾」に在室していることが多くなり、自学自習をする生徒も増えています。

オンラインを使って和歌山大学の学生と交流する「オンラインくろしお塾」も計画していますが、コロナが再び広まりつつある現状を見ると、実施は難しそうです。

### 「くろしお塾地域未来学」

地元出身のアスリートによる講演会を予定していましたが、コロナの影響もあり、延期または中止となる公算が大です。

### 「Web講演会」

全国募集の先駆けで、今も人気の高い隠岐島前高校の公営塾「隠岐國学習センター」の豊田庄吾センター長に、オンラインによる講演会をお願いしていましたが、先方との協議の結果、「コロナが落ち着いてから開催」ということになり、今年度は見送ることにしました。

### 「出張！和大小くろしお塾」

和歌山大学 村田教授と学生サークル「わかまなび」の皆さんの協力を得て、「大学での生活」など、少人数グループで話を聴かせてもらったり、質問に答えてもらったりする、「出張！和大小くろしお塾」を計画していますが、コロナの広がりもあってまだ具体的に計画を進めるに至っていません。



